

学校法人 金沢医科大学 平成23年度決算

学校法人金沢医科大学の平成23年度決算が、5月29日（火）開催の第218回理事会及び第116回評議員会において承認されました。その概要及び収支等の状況は次のとおりです。

1. 概要

私学を取り巻く厳しい経営環境が続く中、平成23年度は、創立40周年記念事業の一環として臨床教育研修センター建設工事に着手しました。また、医学部及び看護学部の国家試験強化対策事業を推進し、さらに、若手医師及び本学卒業生の研究活性化を目的とする特別研究推進事業を実施いたしました。看護学部部門では、学生確保のため老朽化した旧看護専門学校施設を改修し、病院部門では、前年度から引き続き看護師の募集活動や就業環境改善及び老朽化施設の更新などを行いました。

2. 消費収支計算書の状況

【主な収入】

(1) 学生生徒等納付金

医学部生の減少等により、前年比6千4百万円減の49億円となりました。学生数は、医学部生670名、大学院生84名、看護学部生256名の合計1,010名です。

(2) 寄付金

寄付金総額は、前年比2億5百万円増の8億3千6百万円となりました。このうち1億8千8百万円が創立40周年記念事業に係るものです。

(3) 補助金

補助金総額は、前年比1億6千9百万円増の13億1千7百万円となりました。

うち、私立大学等経常費補助金は11億7千8百万円で、看護学部が補助対象となったことなどにより増額となりました。また、文部科学省研究装置設備補助金は1千1百万円です。

(4) 医療収入

医療収入総額は、過去最高の188億1千1百万円となりました。

入院収入は、病床利用率が84.2%と0.3ポイント増加し、診療単価が4.0%増加したことなどにより、前年比4億5千9百万円増の141億1千1百万円となりました。

一方、外来収入は、外来延患者数が0.8%増加し、診療単価が1.0%増加したことなどにより、前年比8千1百万円増の47億円となりました。

なお、医療収入の帰属収入に占める割合は70.7%（前年度71.1%）です。

【主な費用】

(1) 人件費

人件費総額は、前年比8千4百万円増となる122億3千4百万円となりました。うち、教員人件費は、7千8百万円増の37億6千6百万円、職員人件費は看護師などの医療スタッフ増員により、1億3百万円増の77億3千4百万円、役員報酬は5百万円増の9千3百万円、退職給与引当金繰入額及び退職金は、1億2百万円減の6億4千1百万円となりました。退職金が減ったのは、定年退職者が前年より少なかったためです。

なお、人件費の帰属収入に占める割合は46.0%（前年度47.3%）です。

(2) 教育研究経費

医学部及び看護学部の国家試験強化対策事業の拡充、若手医師及び本学卒業生の研究活性化を目的とする特別研究推進事業の実施、総務省・経済産業省等からの受託研究の増加、光熱水費及び機器施設修繕費等の増加により前年比1億3百万円増の17億3百万円となりました。

(3) 医療経費

前年比3億1千1百万円増の87億7千3百万円となりました。医療収入の増収に伴い、薬品費が9千8百万円の増、医療材料費が1億2千8百万円の増となりました。また、医療経費には、医事会計システム更新に係るソフトウェア開発費が含まれています。

なお、医療経費の医療収入に占める割合は46.7%（前年度46.3%）、帰属収入に占める割合は33.0%（同33.0%）です。

(4) 減価償却額及び資産処分差額等

減価償却額及び資産処分差額の合計額は、前年比2千2百万円減の26億8千4百万円となりました。

この結果、帰属収入の部合計266億円から、消費支出の部の合計259億7千8百万円を差引いた収支差額は、前年比3億3千9百万円増となる6億2千2百万円の収入超過となりました。

なお、有価証券評価差額は、今年度はありませんでした。

消費収支計算書

(自)平成23年4月1日

(至)平成24年3月31日

(単位：百万円)

消費収入の部			消費支出の部		
科目	金額	前年比	科目	金額	前年比
学生生徒等納付金	4,900	64	人件費	12,234	84
手数料	170	11	教育研究経費	1,703	103
寄付金	836	205	医療経費	8,773	311
補助金	1,317	169	管理経費	583	104
資産運用収入	135	15	借入金等利息	1	0
事業収入	298	40	減価償却額及び		
医療収入	18,811	540	資産処分差額等	2,684	22
雑収入	133	33			
帰属収入合計	26,600	919	消費支出の部合計	25,978	580
			(収支差額)	(622)	(339)
基本金組入額	799	40	有価証券評価差額	0	1,393
消費収入の部合計	25,801	959	消費収支差額	177	1,772

(注) は計算書式上のマイナス表示、 は比較上のマイナスを表示(以下同じ)

前年比は平成22年度決算との比較です。

3. 資金収支計算書の状況

【主な資金収入・支出】

消費収支計算書で説明した項目については割愛させていただきます。

(1) 借入金等収入

期中の運転資金として銀行から 10 億円を借入れしました。

また、教育振興資金（学校債）を募集し、3 億 8 千 5 百万円の資金調達を行いました。

(2) 借入金等返済支出

期中に借入れた短期借入金 10 億円を返済しました。

また、学校債の定期償還及び繰上償還等で、5 億 2 千 5 百万円の償還を実施しました。

(3) 施設・設備関係支出

施設関係支出では、血液浄化センター無停電化工事に 7 千 7 百万円、臨床研究棟エレベータリニューアル工事に 3 千 1 百万円、臨床教育研修センター建設工事の着手金等 1 億 9 千 3 百万円（うち、補助金交付額 3 千 2 百万円）ほかで、合計 4 億 8 千 6 百万円を支出しました。

設備関係支出では、人工心肺装置 6 千 2 百万円、X線テレビ装置 5 千 2 百万円、手術顕微鏡 4 千 2 百万円、医事会計システム 3 千 3 百万円、全自動細胞解析装置フローサイトメーター 2 千 2 百万円（うち、補助金交付額 1 千 1 百万円）ほかで、合計 6 億 2 千 4 百万円を支出しました。

資金収支計算書

（自）平成 23 年 4 月 1 日

（至）平成 24 年 3 月 31 日

（単位：百万円）

収入の部			支出の部		
科目	金額	前年比	科目	金額	前年比
学生生徒等納付金収入	4,900	64	人件費支出	12,118	76
手数料収入	170	11	教育研究経費支出	1,703	102
寄付金収入	800	182	医療経費支出	8,771	316
補助金収入	1,317	169	管理経費支出	583	104
資産運用収入	135	15	借入金等利息支出	1	0
事業収入	298	40	借入金等返済支出	1,525	43
医療収入	18,811	540	施設関係支出	486	367
雑収入	133	33	設備関係支出	624	110
借入金等収入	1,385	19	資産運用支出	382	359
前受金収入	2,794	310	その他の支出	3,209	310
その他の収入	3,807	250			
資金収入調整勘定	6,564	311	資金支出調整勘定	2,614	62
前年度繰越支払資金	4,223	95	次年度繰越支払資金	5,421	1,198
収入の部合計	32,209	1,223	支出の部合計	32,209	1,223

（注） は計算書式上のマイナス表示、 は比較上のマイナスを表示（以下同じ）、
前年比は平成 22 年度決算との比較です。

(4) 資産運用支出

氷見まちづくり株式会社の普通株式 1000 株 5 千万円を計画どおり購入しました。
また、金沢医科大学氷見市民病院への元入金として 3 億 3 千 2 百万円を繰り入れました。

以上の資金収支計算の結果、平成 23 年度の次年度繰越支払資金（手持運転資金）は前年比 11 億 9 千 8 百万円増となる 54 億 2 千 1 百万円となりました。

4. 貸借対照表の状況

【主な増減】

(1) 資産の部

資産総額は、前年比 2 億 7 千 3 百万円増の 540 億 8 千 6 百万円となりました。

これは、建物ほかの減価償却による減少額に対して流動資産や氷見市民病院への元入金等の増加額が上回ったことによるものです。

建設仮勘定が 1 億 9 千 3 百万円増加しているのは、臨床教育研修センター建設工事の着手を支払ったためです。

金沢医科大学氷見市民病院への収益事業元入金は、3 億 3 千 2 百万円を繰り入れました。

長期貸付金は医学部生、看護学部生への奨学貸付金で、5 億 7 千 9 百万円となりました。

流動資産のうち、現金預金は 11 億 9 千 8 百万円増の 54 億 2 千 1 百万円となりました。

(2) 負債の部

負債総額は、前年比 3 億 4 千 9 百万円減の 172 億 1 千 9 百万円となりました。

退職給与引当金は、前年比 1 億 1 千 7 百万円増の 76 億 8 千 3 百万円となりました。

前受金が減少したのは、学納金の前後期分割納入制度の進行によるものです。

(3) 正味財産は、前年比 6 億 2 千 2 百万円増の 368 億 6 千 7 百万円となりました。この結果、資産総額に対する正味財産の割合は 68.2%となり、前年度より 0.8 ポイント増加しました。

なお、情報公開の一環として、平成 23 年度財務関係書類（財産目録、貸借対照表、収支計算書、事業報告書及び監査報告書）を本学のホームページ上に掲載しています。

（<http://www.kanazawa-med.ac.jp> 「事業報告及び決算について」）

貸借対照表

平成24年3月31日現在

(単位：百万円)

資産の部			負債の部		
科目	金額	前年比	科目	金額	前年比
固定資産	45,019	1,031	固定負債	11,152	57
土地	3,206	0	学校債	3,469	60
建物、構築物他	21,542	1,359	退職給与引当金	7,683	117
教育研究用機器備品他	6,583	312	流動負債	6,067	406
建設仮勘定	214	193	学校債	295	80
収益事業元入金	1,011	332	未払金	2,614	41
長期貸付金	579	115	前受金他	3,158	285
退職給与引当特定資産	6,138	0			
減価償却引当特定資産	3,096	0			
施設拡充引当特定資産	1,700	0			
海外交流引当特定資産	500	0	負債の部合計	17,219	349
医学部奨学事業特定資産	400	0			
臨床研修奨学事業特定資産	50	0			
流動資産	9,067	1,304			
現金預金	5,421	1,198	正味財産の部		
未収入金	3,449	71	科目	金額	前年比
貯蔵品他	197	35	基本金	66,073	669
			消費収支差額	29,206	47
			正味財産の部合計	36,867	622
資産の部合計	54,086	273	負債の部及び正味財産の部合計	54,086	273

(注) 減価償却額の累計額は 35,425 百万円、徴収不能引当金の合計額は 14 百万円です。

退職給与引当金の額は、期末要支給額 7,683 百万円の 100%を計上しています。

5. 金沢医科大学氷見市民病院の状況

平成23年度は9月から新病院が開院し、これに伴う移転費用、備品購入、医療スタッフの増員及び記念式典の実施などにより支出が大幅に増加しました。

(1) 損益計算書

医業収益46億円に対し医業費用が53億1千8百万円で、差引医業収益は7億1千8百万円の支出超過となり、医業外収益3億8千5百万円を含めた当期経常利益は3億3千3百万円の支出超過となりました。

医業収益のうち、入院収益は28億3千3百万円、外来収益は17億5千5百万円です。

医業費用のうち、医薬品費や医療材料費等の材料費が15億7千1百万円、給与費が28億2千9百万円、委託費が4億4千7百万円、設備関係費が1億1千7百万円、その他の経費が2億4千5百万円、氷見市への指定管理者負担金が1億9百万円です。

補助金収益は、氷見市からの交付金3億4千1百万円など3億6千5百万円です。

(2) 貸借対照表

資産総額は13億6千4百万円、負債総額は7億2千7百万円、純資産は6億3千7百万円です。

流動資産は12億1千4百万円です。

うち、現金預金は1千3百万円、未収入金は11億5千2百万円、貯蔵品は4千7百万円です。

流動負債は5億4千7百万円です。

うち、未払金は3億6千万円、預り金は3千9百万円、賞与引当金は1億4千8百万円です。

固定負債は退職給付引当金で、1億8千万円です。

純資産のうち大学会計からの収益事業元入金は10億1千1百万円となりました。

(経理管財部 大野木辰也 記)

金沢医科大学氷見市民病院 損益計算書

(自)平成23年4月1日

(至)平成24年3月31日

(損益計算書) (単位:百万円)

科 目	決算額	科 目	決算額
医業収益	4,600	医業費用	5,318
入院収益	2,833	材料費	1,571
外来収益	1,755	給与費	2,829
受託事業収益	1	委託費	447
施設設備利用収益	11	設備関係費	117
		経費	245
		指定管理者負担金	109
		医業利益	718
医業外収益	385	医業外費用	0
寄付金収益	7		
補助金収益	365		
雑益	13	経常利益	333

金沢医科大学氷見市民病院 貸借対照表

平成24年3月31日現在

(貸借対照表) (単位:百万円)

科 目	決算額	科 目	決算額
流動資産	1,214	流動負債	547
現金及び預金	13	未払金	360
未収入金	1,152	預り金	39
徴収不能引当金	7	賞与引当金	148
貯蔵品	47	その他	0
その他	9	固定負債	180
固定資産	150	退職給付引当金	180
工具器具備品	168	負債の部合計	727
減価償却累計額	19	純資産	637
車輛	2	元入金	1,011
減価償却累計額	1	利益剰余金	374
		純資産の部合計	637
資産の部合計	1,364	負債・純資産合計	1,364